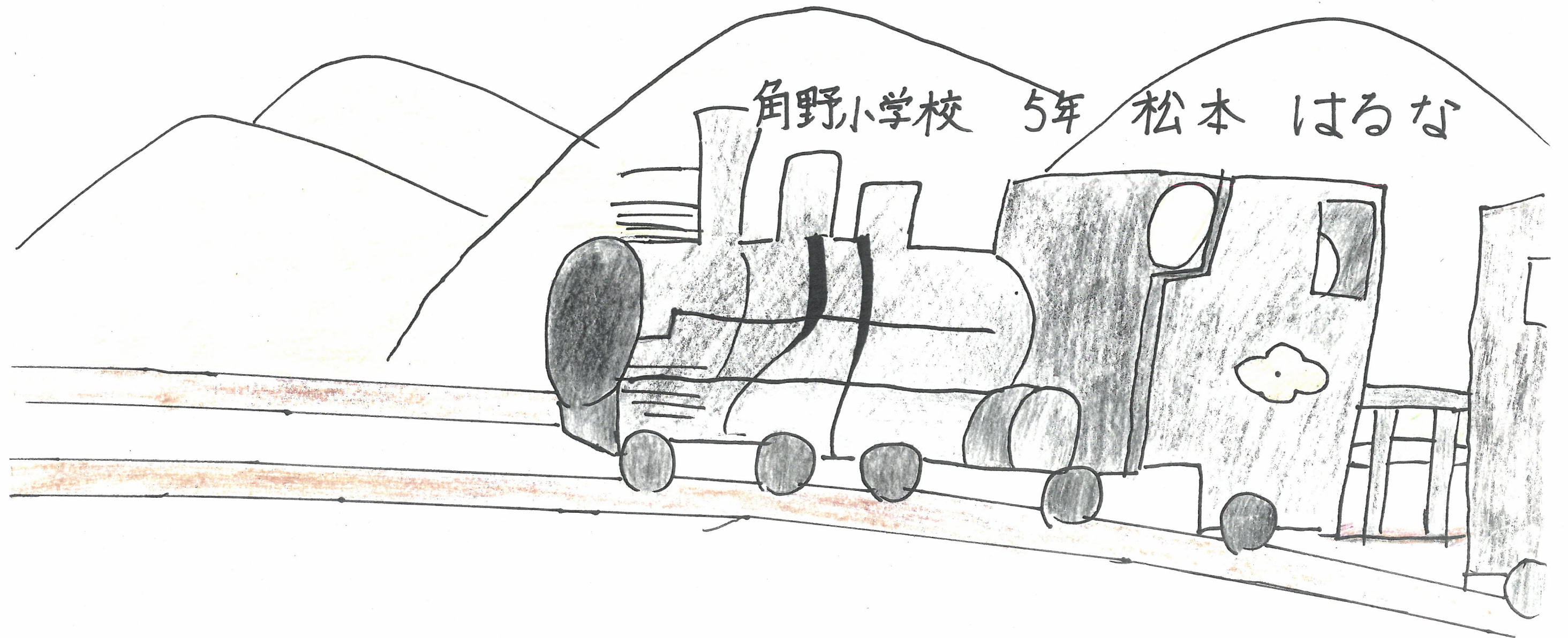


生活の中で息づく

住友別子鉱山、鉄道



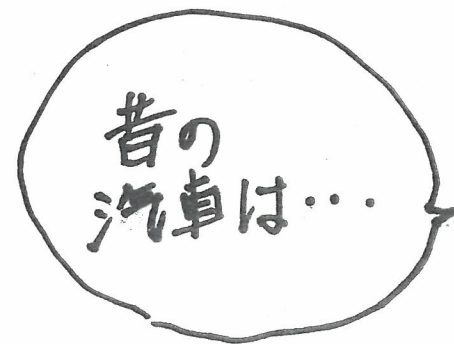


# 1. 調べようと思った理由



保育園の時、大山積神社がいつもの散歩コースで、神社の近くには汽車がありました。私は「駅じゃないのに、どうして汽車があるんだろう。」といつもふしぎに思っていました。

小学校4年生の時、社会の授業で別子銅山について勉強しました。そして、神社にあった汽車が、昔の新居浜で実際に走っていたことを知りました。「山から海までの長いきりを走るなんてすごいなあ」と思っておばあちゃんに話すと、おばあちゃんは鉄道についてうれしそうに色々話してくれました。おばあちゃんが楽しそうに話してくれたので、私も鉄道のことをもっと知りたくなりました。そこで、夏休みにおばあちゃんと鉄道について調べることにしました。



75才

## 2. 調べたこと、調べた方法

### 『別子鉱山鉄道の今と昔を比べる』

(1) 昔の様子を調べる。

① 本・資料を集める。

② 別子銅山記念館 高橋館長さん(せん門家)にインタビューする。

③ おばあちゃん(昔の鉄道のお客さん)にインタビューする。

(2) 今の様子を自分の目で確かめる。

① 本・資料を集める。

② 鉄道跡を自分で歩いてみる。



# 3. 結果

## (1) 別子銅山記念館 高橋館長さんのお話 8/7(土)



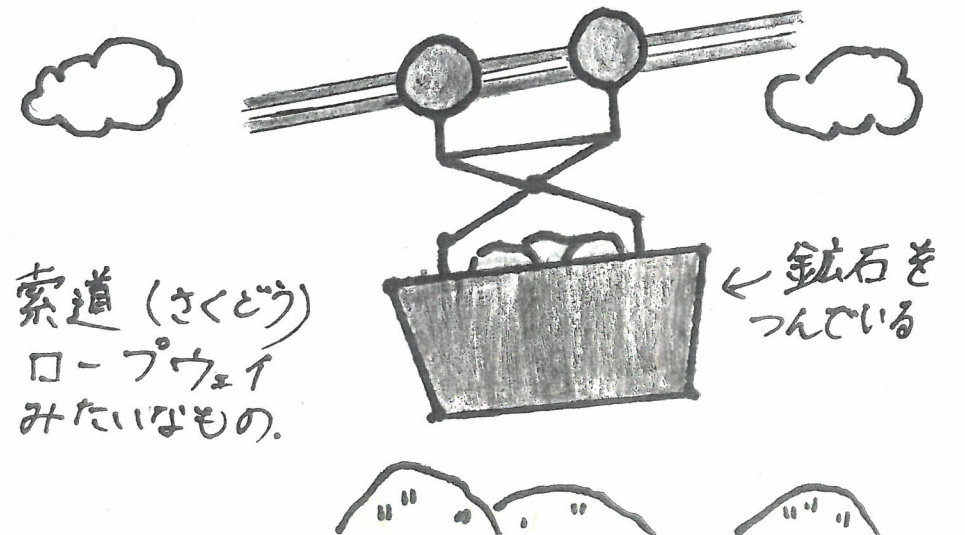
私

別子鉦山鉄道はどこを走っていたんですか。



館長さん

「別子鉦山鉄道は、上部鉄道と下部鉄道に分かれていたんだよ。上部鉄道は、角石原駅から石山丈駅までの間を走っていました。人は運ばずに鉦石を運んでいたんだよ。石山丈から端出場までは、索道が通っていました。端出場から海までが下部鉄道。端出場は、今のマインドピア別子がある所だね。上部鉄道は山の中で危険、立入禁止になっているから、下部鉄道について言及るといいよ。」



索道 (さくどう)  
ロープウェイ  
みたいなもの。



Q. 下部鉄道について教えてください。

「下部鉄道は、明治26年から昭和51年9月まで走っていました。はい止になった理由は、バスを利用する人がふえて、鉄道のお客さんがへったことと、昭和51年9月に台風17号によって山くずれがおきて復きゅうが不可能になったからです。」

Q. どこからどこまで走っていたのですか。駅はいくつありましたか。

「端出場駅からそう開馬尺まで。港に行くルートや新居浜馬尺に行くルートもあったんだよ。馬尺は全部で9個ありました。‘まぼろしの馬尺’と呼ばれる馬尺が2つあります。1つはたきの宮、もう1つはそう開のはらじという所にあったらしいよ。いつからいつまで存在していたか分からないので、まぼろしの馬尺と言われています。」

時刻表 (59.4.1訂補)

そう開馬 端出場馬

午前	4			▲45	午前	4			
	5	00				5			
	6	▲00	15	▲35		6	10		
	7	00				7	10	▲34	55
	8	00		45		8			50
	9			35		9		35	
	10		15			10		25	
	11	05		55		11	10		55
	12			45		12			50
午後	1			45	午後	1		40	
	2			40		2		35	
	3		25			3	15	30	±55
	4		20			4	15		
	5	10				5	15	山31	
	6		20			6		30	
	7		25			7		25	
	8		15			8	15		
	9					9	05		

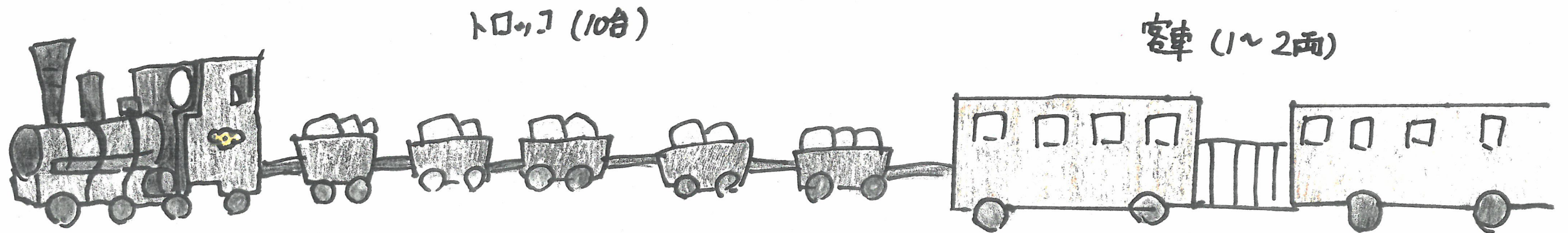
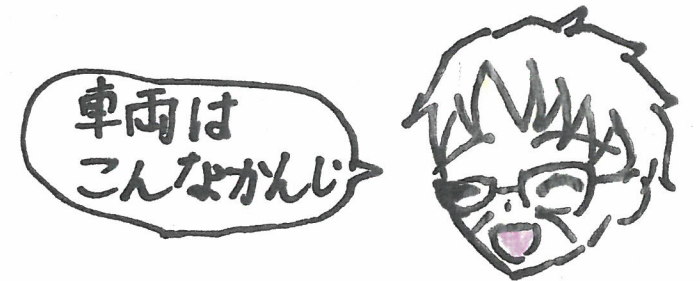
全て端出場行 山:山根行 土:江橋行  
山:土以外はそう開行  
▲日曜と四大節は運休

Q. 運ちゃんはいくらでしたか。  
また、何時から何時までやっていたのですか。

「運ちゃんは、端出場からそう開までは 20銭でした。  
今でいうと、200円~400円くらいだね。  
始発は午前4時、終電は午後9時です。  
通きん時間帯に本数が多かったですよ。」

Q. お客さんは、1日平均何人でしたか。

「乗客が多かったのは戦後すぐの頃で、1日約7000人が利用していました。  
はい止する頃は、6分の1の 2985人になりました。」





## (2) おばあちゃん(75才)のお話 ④(±)

Q どんな時に利用してましたか。

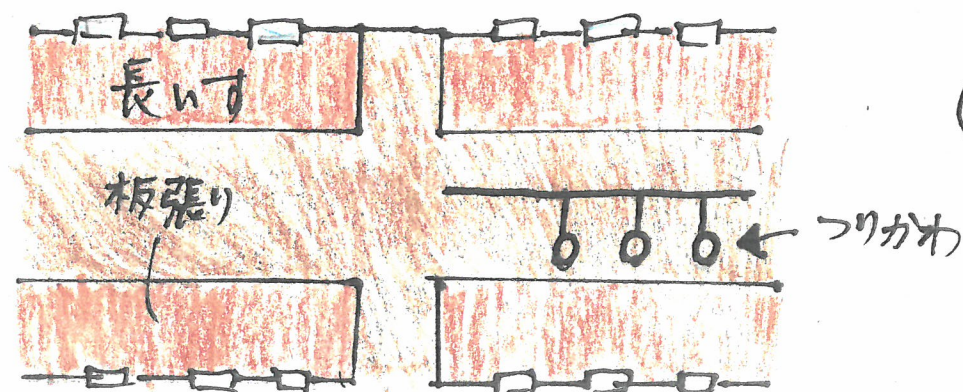
「5才くらいから中学校3年生頃まで乗っていたよ。端出場から山根まで通学で利用することが多かったねえ。歩いたら1時間くらいかかるけど、電車だったら15分くらいで着いたと思うよ。」

Q 乗りごころは、どうでしたか。

「かい適でした。電車に乗ること自体がワクワクして楽しかったよ。線路のすぐ側にある岩がぶつかりそうで、怖い所もあったねえ。」

Q 電車代は高いと感じましたか。

「別子銅山の職員の家族は、無料だったような気がするわ。」



客車の中は  
こんなかんじ



(3) 今の鉄道跡の様子を自分の目で確かめる<sup>8/8(日)</sup> <sup>8/10(火)</sup>

はじめは、端出場からそう開まで歩いてみようと思っ  
ました。だけど、資料を読むと、自転車歩行者専用道路以外は  
立入禁止になっていることが分かりました。

また、真夏に長いきょりを歩くことは、熱中症の危険があるな  
と思いました。

そこで、計画を変こうして次のとおりにしました。

- ・行ける所は行ってみる。
- ・山根駅から滝の宮公園までは自転車。
- ・滝の宮公園から星ごえ駅までは徒歩。



# ① 端出場駅

今は、別子銅山のテーマパークとして マイントピア別子があります。  
夏休み中で、たくさんのお客さんがいました。昔、鉱山鉄道を走っていた  
機関車を小さくした「別子1号」がパーク内を走っています。

おばあちゃん  
「このあたりが  
駅舎だった  
と思うよ。」

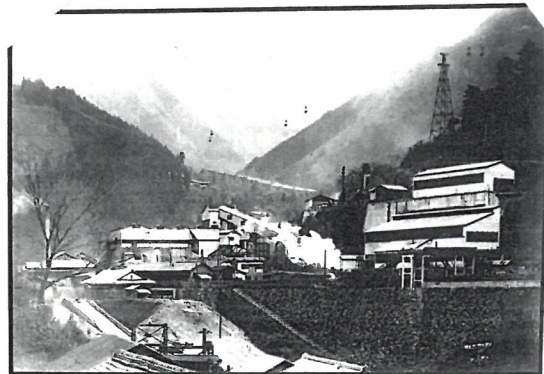


残念!  
立入禁止

おくがマイントピア別子

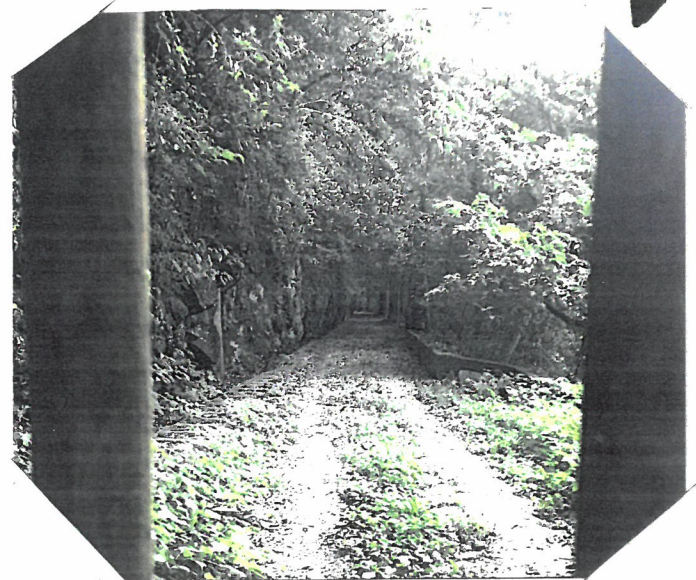


マイントピア  
別子にあった  
説明立て札



端出場貯鉱庫跡 The Ruins of Hadeba Copper Ore Storage

案内から運び出された鉱石を貯める施設。大正8年(1919)完成。  
端出場は、明治26年(1893)の別子銅山鉄道開通以来、物資運搬の中継基地として重要な位置を占めていた。大正4年(1915)、第四通関(長さ156m)が竣工し、さらに、大立坑によって東平の第三通関(長さ750m)と結ばれると、坑内運搬の大動脈が完成した。これにより端出場は、東平に続く貯鉱拠点として整備が進められ、貯鉱庫、端出場駅手前貯鉱庫、四通関などが造られた。貯鉱庫の上には、第四通関からの軌道敷きが延び、鉱石運搬車が貯鉱庫の上から鉱石を落として鉱石貯める仕組みであった。また、貯鉱庫の前には、緩急があり、貯鉱庫前側4箇所に掘られた横穴は、大立坑へ移すためのものである。  
大立坑(1927)8月、端出場手前貯鉱庫が完成すると、それまで東平に運ばれていた鉱石は端出場に集められることとなり、さらに昭和5年(1930)5月、採鉱本部が東平から端出場に移ると、昭和48年(1973)1日の終業まで採鉱の中心地となった。



おくに  
続いていく。  
山根駅  
方面。





## ② 内宮神社の参道

内宮神社の参道と鉄道跡が交差している所がありました。  
マイントピア別子の方にも、山根の方にも 立入禁止で行けませんでした。  
鉄道跡から角野小学校が見えました。



おくに続いていく道が鉄道跡で  
端出場に向かっています。  
手前は参道。

進むと…… 立入禁止



参道から山根駅方面に向いています。  
ロープがあり入れません。  
右手に角野小学校が見えます!



おばあちゃん  
「客車の中から  
木造の角野小学校  
が見えていたよ。」



### ③ 山根駅

ユ-ブ山根店の向かいのきさ店うらに山根駅跡がありました。  
ここから、自転車歩行者専用道がスタート。住宅街の間を進んでいきます。

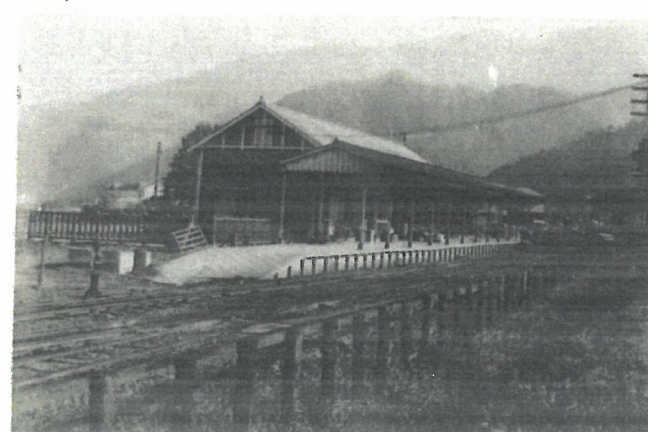


← コ-ブ山根店

ここから自転車スタート!  
(港の宮公園まで)



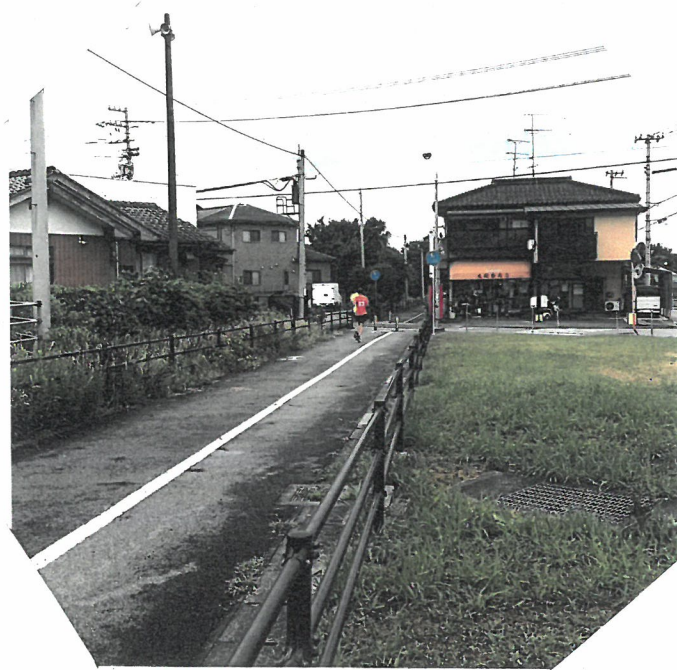
住宅の間を進みます。



山根駅 (昭和11年)



④ 土橋のあたり。

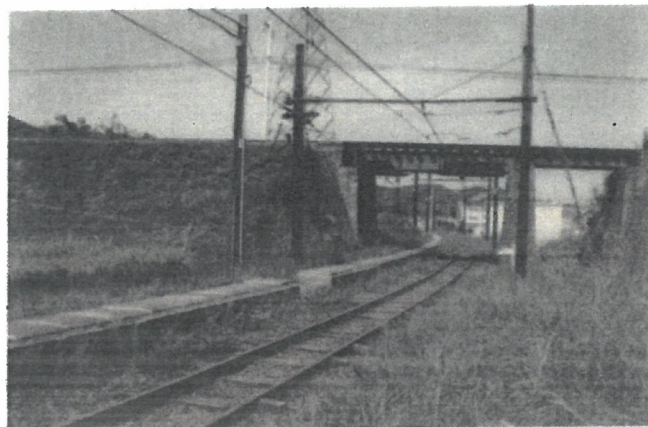


散歩やジョギングなど  
たくさんの方が通っていく。

← と中で一般道と交差するけど  
むこう側に道は続いていく。

⑤ JRと交差している所。

昔



国鉄予讃線立体交差 (昭和51年)

今



← JRの線路

自分が通っている時に  
上を電車が通ったらドキ!

おはあちゃん

「この辺りは、昔は田んぼや畑ばかりだった。  
今は、家がたくさんできて、にぎやかになったね。  
線路は昔のなごりがあるね。」



⑥. ⑦. ⑧ 滝の宮公園～西の土居～星ごえ馬尺

滝の宮公園から星ごえ馬尺跡までは、歩いて行きました。  
2時間かかりました。暑くて、とても大変でした。



ここからは  
歩くぞ!



← 住宅街の間を通る。  
コスモスがきれいでした。

鉾山金知道のことを教えてくれる立て札



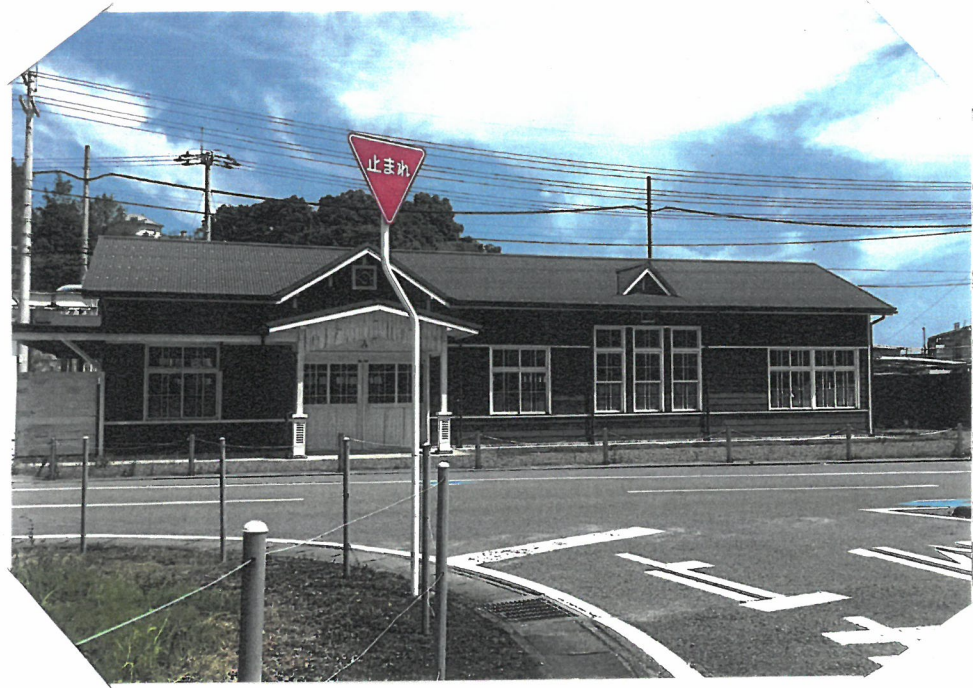
鉄道が  
橋になって  
うまれかわっている。



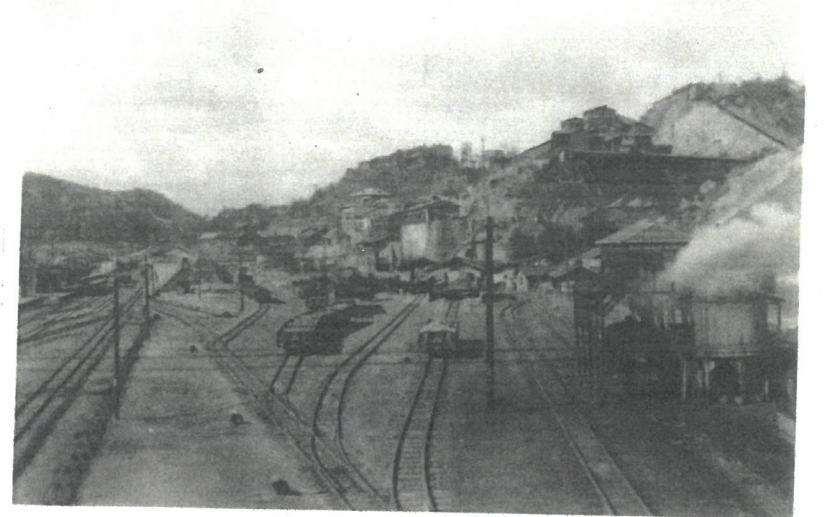
今

# 星ごえ駅

昔



星越駅 (昭和11年)



星越駅構内 (昭和20年代)

想像していたよりもおしゃれ！  
モダンな印象でした。

すごく広い駅 たったんでな。

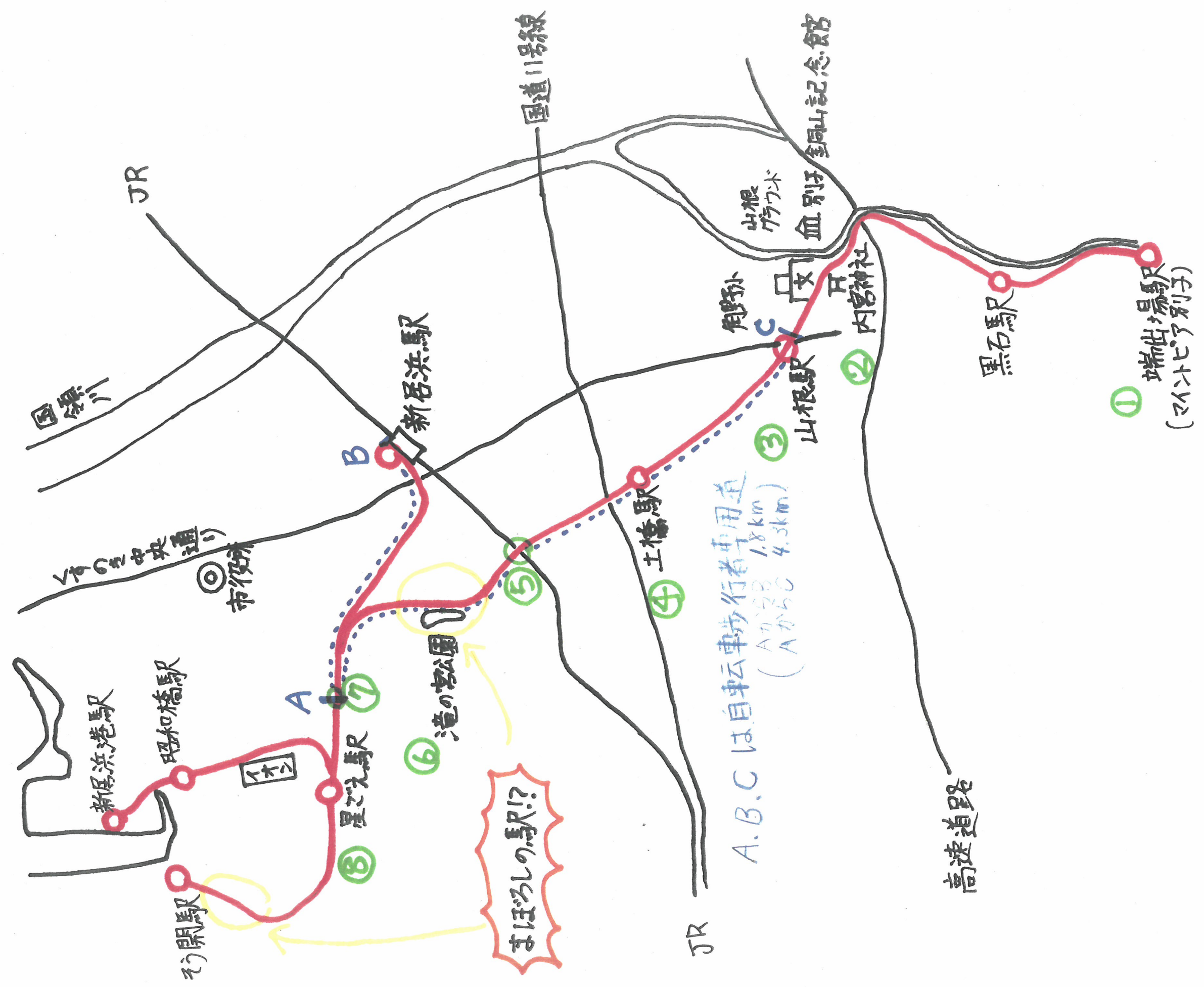


← このま おくに進むと  
星ごえトンネル。  
そう開駅に向かうそうです。

(今回はここまで)



# 今の下部鉄道



## 4. 分かったこと、感想

私は別子鉱山鉄道について、調べる前は、鉄道跡は途中で切れているんだろう、と思っていました。ただ、実際に自分の目で確かめたら、昔のルートそのまま残っていました。昔は通勤・通学電車、今は生活道路として、長い間、新居浜の人の生活にとけこみ、生活を支えていることが分かりました。

また、今回私が歩いたのは下部鉄道のほんの一部だけど、とても暑くてしんどかったです。「昔は今より機械も不便で、あんな長い鉄道を作り上げるのはとても大変だっただろう。たくさんの人を合せる、大きなことでもやりとげられるんだ。」ということに気づきました。

今回、鉱山鉄道を調べようと思、たのは、鉄道のことを話すおばあちゃんの顔が生き生きとしてうれしそうだったのが印象的だったからです。私も、自分がくらしている新居浜が大好きです。鉄道跡が昔から今につながっているように、新居浜が好きな気持ちも、おばあちゃんから私につながっています。今回調べた中で、水やけむりの公害に取り組んだ人がいることも分かりました。来年は公害について調べて、も、と新居浜について知りたいと思、ますので、新居浜を大切に思う気持ちを友だちや妹ともつなげていきたいです。



## 5. 参考資料

「平成30年企画展 写真と小史でみる別子銅山鉄道」  
平成30年7月発行 別子銅山記念館 編集・発行

「別子銅山 近代化産業遺産 八十八か所  
ふれあい めぐりあい ガイドブック ～マインからマインドへ～」  
令和3年5月第4刷発行 愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部 編集  
新居浜市教育委員会発行

「にいほま紀行」  
令和3年4月発行(再版) 一般社団法人新居浜市観光物産協会発行

高橋館長さん、おばあちゃん  
ありがとうございました。